

令和６年度第１回「防府市参画及び協働の推進に関する協議会」会議録概要

開催日時 令和６年８月２８日（水）午後２時００分～３時３０分
会 場 ルルサス文化センター交流室３
出席委員 ７人（欠席１人）
概 要 （発言要旨の文章表現は、簡略化しています。）

◎協議事項

- ① 防府市における参画と協働について
- ② 本協議会について（今後の進め方）
- ③ 防府市の参画の取組についての検証

○ 事務局

皆様おそろいになりましたので、ただ今から「令和６年度 防府市参画及び協働の推進に関する協議会」の第１回会議を始めさせていただきます。

委員長が決まりますまで、進行を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

防府市参画及び協働の推進に関する条例施行規則第６条第２項の規定により本協議会成立を報告。
防府市参画及び協働の推進に関する条例第１４条第４項に基づき協議会を公開とする旨を確認。

○ 委員委嘱状の交付

協議会委員へ委嘱状を交付

○ （部長）あいさつ

本日はお忙しい中、第１回目の『防府市参画及び協働の推進に関する協議会』にご出席いただきありがとうございます。

また、協議会の委員をお引き受けいただきまして、心から感謝申し上げます。

本市では、平成２１年に「防府市自治基本条例」を、平成２４年には「防府市参画及び協働の推進に関する条例」を制定し、参画と協働の推進に努めているところです。

変化しつづける社会の中で、自治の主体である、市民の皆様の参画と協働のもと、街づくりを進めることは大変重要であると考えております。

本協議会では参画・協働に関する学識経験をお持ちの方、また平素から市政に多くの御理解・御支援をいただいている各種団体の方、そして、自らご応募いただいた公募委員の方々にご協力いただけるということを、非常に有難く、また心強く思っております。

協議会委員の皆様には、防府市の参画と協働の推進について、忌憚のない御意見をいただければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○ 委員自己紹介

○ 委員長・副委員長の選任

委員の互選により、委員長に谷部真吾委員、副委員長に齊藤理委員を選任。

○ 事務局

参画及び協働の推進に関する基本条例施行規則第6条第1項に協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、その議長となると定められており、ここからの進行は、谷部委員長にお願いいたします。

○ 委員長

それではお手元にございます次第に従って進めていきたいと思います。まずは次第の5 ①防府市における参画と協働の現状についてならびに②本協議会設置の趣旨説明、今後の進め方について事務局から説明をお願いします。

○ 事務局

※配布資料「防府市における参画と協働について」「防府市参画及び協働の推進に関する協議会について」等について説明。

○ 委員長

ただ今事務局から①防府市における参画と協働の現状について、②本協議会設置の趣旨説明、今後の進め方についての御説明をいただきました。何か御質問や御意見があればお願いしたいと思います。

→（意見なし）

それでは、次第の③防府市の参画の取組についての検証に関して、事務局から説明をお願いします。

○ 事務局

※配布資料「検証の視点」「令和5年度 参画の手法実施状況総括表」「パブリックコメント実施状況」「審議会等の運営状況」「その他の参画の手法実施状況」「複数の参画手法の実施状況」「参考資料1. パブリックコメント実施一覧表」等について説明。

○ 委員長

それでは次第の5 ③防府市の参画の取組について委員の皆様から御意見をいただきたいと思います。

○ 副委員長

資料5 ページの「令和5年度 防府市審議会等の運営状況」で、100近くあるいろいろな審議会等に、①公募委員がいるか、②女性委員がいるか、③会議を公開しているか、④会議録を公開しているか、これらをすべてに当てはめるべきなのか、また、それぞれ会議の主催者にあらかじめそれらを促しているのか、①～④を達成しなければいけないものと達成しなくてもさほど影響がないものがあるのではないのでしょうか。

○ 事務局

①公募委員については、基本的にはすべての審議会で公募することになっているのですが、審議会の中には公募にそぐわないものがありますので、強制的に公募を入れるということとはできません。委員の内訳は条例や要綱等で定めてあり、専門性が高かったり、個人情報を取り扱うなど公募に適さない審議会については公募していない状況です。

○ A委員

公募できる審議会とできない審議会を表に表すことはできないのでしょうか。

○ 事務局

表の公募委員の在籍欄に○が表示されているのは公募委員がいる、×が表示されているのは、公募委員を募集していない審議会となります。また、女性委員の在籍欄については、○は女性委員がいる、×はいないという表示になっています。

○ 委員長

そこは大変かもしれませんが、公募したけれども集まらなかった場合と公募していない場合をわかりやすく表示した方がいいかもしれません。

○ 事務局

次回の資料から工夫して表現を変えさせていただきます。

○ B委員

女性委員の登用について、「男女共同参画推進計画」では登用割合が35%を目標値としており、女性の意見を聞くことは重要。その中で公募方法について、市広報に公募委員募集が記載されているのですが、市広報はイベント情報や委員募集の情報など情報が多く、何を知らせたいのかわかりにくくなっています。市政に重要な情報（公募委員募集やパブリックコメントの意見募集など）は、はじめに載せるべきではないのかと思います。

○ 委員長

市広報のどこに何を記載するかは、市民からいろいろと意見はあると思いますが、見づらくわかりにくくなっている、もっとわかりやすくしてほしいとの意見ですね。

公募委員で選任された方は、どのようにしてこの委員会を知ったのですか。

○ C委員

私の場合は、仕事を退職し、時間に余裕ができたため、市広報を時間をかけてゆっくり読んでいた時に目に留まり興味を持ちました。

○ A委員

私の場合は、市民活動支援センターから公募委員を募集していることをお聞きしたため、市広報からの情報ではないです。

市広報についてですが、コストはかかるかもしれませんが、重要な情報は完全に別な色紙で、市広報と一緒に配付すれば、市民に広く伝わるのではないかと思います。

○ 委員長

もう少し有効な周知の仕方を考えていただきたいという意見ですね。

その他ご意見はありますか。

○ D委員

事務局で分かれば教えていただきたいのですが、3ページの「パブリックコメント実施状況」で、意見提出件数が令和元年はかなり多く、その前後は少ないのですが、内容はわかりますか。

○ 事務局

内容について資料を持ち合わせていないので、後日、議事録に記載いたします。

・平成28年度 その他 意見提出件数73件については、「庁舎建設基本構想基本計画（案）」

・令和元年度 その他 意見提出件数108件については、「新庁舎建設基本設計」

○ E委員

私は昨年も委員を務めさせていただいたのですが、前回も同様な意見が出たときに、パブリックコメントはテーマによって市民に興味深いものに関しては、意見提出件数が多いようです。

○ B委員

いろいろなパブリックコメントを拝見していますが、確かにテーマによって、個人的に意見を出したいと思うことはあります。そこでどのようにして意見を出していただくかですが、最後にパブリックコメントで意見を募集すると、意見を出しにくいのではないかと思います。例えば計画であれば、初めに計画の素案があると思うので、それを公開してそれに対して、市民に意見を求めれば、審議会で審議するときに、いろいろな意見が反映されるのではないかと思います。

また、市民の方にできるだけ興味を持っていただくために、審議会の案内の時に事前に資料を公開すると、興味を持っていただけるのではないのでしょうか。

○ 委員長

素案などわかりやすい状態で公開して市民から意見を求めてみてはどうかということと、関係者に資料をどのようにして提示するのかという意見ですね。

その他に意見はありますか。

○ A 委員

この審議会に参加するにあたって、3年間のパブリックコメントをホームページで見ってみました。中にはホームページで見ることができなかったのもありましたので、見るができるようにしてほしいです。また、膨大なページ数や論点がよくわからないものがありましたので、わかりやすい言葉でわかりやすい資料を出した方がいいのではないかと思います。

○ 委員長

やはりわかりやすさを考えていかないと難しく、論点を明確にすることは重要ではないかと思います。

○ A 委員

わかりやすさということですが、中学生ぐらいでもわかる言葉、説明、文書にすると、より市民の方も理解しやすくなると思います。

○ 副委員長

私も賛成です。特にやさしい日本語でのWEBサイトがあるべきです。防府市では技能実習生が多く、日本語がある程度わかっても特殊な言葉はわかりにくく、防災等のリスクヘッジのため、また、提言書等にも優しい日本語で別記しておく必要があるのではないのでしょうか。

○ 委員長

その他にパブリックコメントについて、何かございますか。

○ 事務局

先ほど、膨大なページ数や論点がよくわからず、わかりやすい資料を出した方がいいのではないかという意見がありましたが、パブリックコメントのマニュアルにはわかりやすくまとめた概要版を作成し公表するようになっています。概要版が公表されていないのであれば、今後、マニュアル通り進めるようにしていきます。

また、計画などで初めに市民から意見を求めてみてはどうかという意見に対しては、多くの計画に対しては作成前に無作為にアンケートを依頼しています。それを基に新しい計画を作成したものに對して、パブリックコメントを募集しています。

○ 委員長

アンケートを無作為に依頼しているとのことですが、無作為も1つの方法ですが、利害関係者の

ところにアンケートの依頼が届くかどうかとも考えないといけないと思います。

その他いかがでしょうか。

○ 副委員長

ワークショップについてですが、ワークショップも大事なプロセスと思うのですが、件数が0件となっており、その背景とか何か理由があるのでしょうか。

○ B委員

ワークショップという名前ではなく、座談会として話を聞いたりしていることもあるようで、それが数値として挙がっていないのではないかと思います。

○ 委員長

市民の方々と意見交換等はあるようなので、それらも集計できるような仕組み作りも必要なのではないでしょうか。

○ 副委員長

女性委員についてですが、女性委員が参加しにくいのはなぜでしょうか。

○ E委員

団体からの委員推薦で女性に声をかけましたが、断られました。何を話したらいいのか、どんな意見を求められるかがわからないとのことでした。

○ 委員長

内容の話ということになると、周知の仕方を工夫しなければいけないということですね。前回までの審議会では、開催時間が業務時間だと参加できない人も多いから、企業に働きかけを行わないといけないなどの意見もでしたが、環境面への配慮と仕組みの工夫といった、2つのことを同時に考えないといけませんね。

○ A委員

女性ならではの発想、子育てをしているからこそ言える言葉などがありますから、女性委員の登用割合の目標が35%ですが、もっともっと増えていいと思います。そのためにも公募の仕方を考え直す必要があるのではないかと、女性委員の意見は必ず必要だと思います。

○ B委員

募集の仕方ですが、女性委員を募集していることをどのように入れて募集をかけるかだと思います。女性の意見を求めていますなど、ぜひ女性の方に参加していただきたいということを表示して募集することが、必要だと思います。また、委員を推薦してもらう団体に、女性団体から委員を推薦してもらえれば、確実に女性が1人増えるようになります。

○ 委員長

女性が参加しやすい仕組みを考えていく、女性の方の意見を求めますという表現、女性団体から委員を推薦してもらうというのも1つの考え方かもしれませんね。

○ C委員

女性団体に依頼するのも1つの考え方ですが、前にも話が出ましたが、企業への協力を依頼することも1つの手段ではないかと思います。

○ 委員長

広く工夫していただくことが必要ですね。

○ 副委員長

観念的な話になりますが、大勢の男性の中に女性が1人や2人だと居心地が悪いと思います。審議会の中に女性が多数を占め、女性が活発に取り組んでいるモデルケースを作るのも1つの手段なのかなと思います。雰囲気の問題もあると思います。

○ B委員

審議会の中には、女性が多数を占めている審議会もありますので、全審議会を対象にして、一律に女性委員を増やそうとするのではなく、女性委員を増やした方がいい審議会にポイントを絞って、できるだけ参加しやすい形を作り上げたらいいのではないかと思います。おそらく1回参加して皆さんの意見を聞いて、意見等を述べられたら、次の審議会には抵抗がなくなるのではないのでしょうか。

○ 委員長

最初の一步をどのようにして踏み出してもらうかですね。

その他はいかがでしょうか。

○ B委員

審議会の会議録ですが、基本的に会議録を公開するようになっていますが、審議会によっては単年度だけで公表を終えているものもあります。新しく委員になるときに、過去の会議録や資料を確認すると思うので、できるだけ公開期間を一律に同じように残していただきたい。少なくとも3年は残していただくと、過去の経緯を参考にして審議会に参加できるようになります。また、審議会のホームページですが、議事録を掲載されている場所が統一されていないため、わかりづらくなっているのので、どのように運用するか考えていただきたい。

○ 委員長

先ほど、E委員が言われていた、どのような意見を求められるかに繋がってくると思うので、ホームページで見ることができれば、もしかしたら、公募等で参加するハードルが下がっていくのか

もしませんので、重要なご指摘だと思います。

私からですが、15ページの「5. その他の参画の手法の実施状況」で、意識調査の回答率に関して記載がないものがあるので調べてもらいたいのと、回答率が低いのはよくないことです。アンケートの取り方に問題があったのか、それとも単に答えてもらえなかっただけなのか、明らかにしていただけないでしょうか。場合によっては、市民の意見を吸い上げるために、アプローチの仕方を考えていく必要があると思います。

○ 事務局

次回の委員会までに調べます。

○ 委員長

その他いかがでしょうか。

今回はいろいろなご意見があり充実した審議会になったと思います。今回はこのあたりで終わらせていただきたいと思います。次回は協働について協議したいと思います。それでは事務局の方からお願いします。

○ 事務局

本日の会議録は、皆様に御確認いただき個人情報に触れない範囲で公開とさせていただきます。次回の開催は1月を予定しております。次回開催日程については後日調整させていただきます。本日はありがとうございました。